

# NU-



# NU-COIL



# COIL



**Nanzan University**  
**Collaborative Online International Learning**

<http://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/>

# NU-COIL

日本と世界をつなぐ  
グローバル人材をめざす

Nanzan University Collaborative Online International Learning

## NU-COILとは

SNSやビデオチャットなどのオンラインツールを活用して、海外の大学の学生と授業内外で協働プロジェクトや意見交換を行うCOIL型授業。NU-COILはこのCOIL型授業と海外留学、企業でのインターンシップなどを組み合わせ、グローバル人材に必要な力を身につけるための取り組みで、海外協定校との深い協力関係や地域企業との連携を重ねてきた南山大学ならではの国際プログラムです。COIL型授業は3つのカテゴリで構成されます。



### STEP1

#### ベーシックCOIL

SNSなどを活用したオンライン上での文化交流や言語学習のための交流、簡単な意見交換を行う初級者向けの授業です。相手の国・地域や大学に対する親近感を向上させ、短期留学の入り口としての役割を果たすものです。

### STEP2

#### アカデミックCOIL

政治、経済、文化などの専門科目をベースにCOIL型授業を行います。議論や協働プロジェクトの内容も、文化の比較に加えて双方の専門性が加わります。長期留学前に受講することで、留学時の学習ハードルを下げることができます。

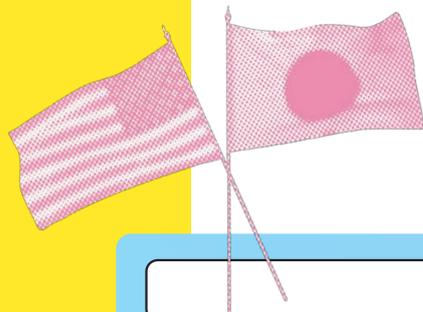
### STEP3

#### PBL COIL\*

企業や団体、官公庁が抱えているビジネス・行政上の課題を両国の学生が協働で調査、議論し、その解決策を提案する実践型の授業。高い言語能力と専門性が問われる上級科目です。

\*PBL=Project Based Learning

## 日米をつなぐNU<sup>4</sup>-COIL<sup>2</sup>～地域に根ざしたテイラーメイド型教育プログラム～



### NU<sup>4</sup>-COIL<sup>2</sup>とは

NU-COILの中で特に緊密に連携する米国協定校との共同事業が「NU<sup>4</sup>-COIL<sup>2</sup>～地域に根ざしたテイラーメイド型教育プログラム～」として文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択されました。米国連携校、地域の産業界、南山大学のそれぞれのニーズや特徴をもとに、学生の学びと地域や企業のメリットを最大化できるようテイラーメイドで事業を構築しています。草の根の交流を通して、日本と米国の関係がより深化していくことを目指すと同時に日本と世界の教育連携をリードするモデルとして取組を進めます。

### NU<sup>4</sup>-COIL<sup>2</sup>で育成する人物像



1

多文化共生力

2

学際的国際力

3

問題発見・  
解決力

多文化共生力、学際的国際力、問題発見・解決力を備え、日米間の架け橋となってさまざまな分野で活躍できる人材を育成します。また、日米両国だけでなく世界が抱える問題を能動的に解決する人材育成をめざします。

Career Oriented Interactive Leadership

を備え、グローバルマインドを持った国際人

Nanzan University

Collaborative Online International Learning

Nanzan-  
United States

Nippon-  
United States

Nippon-  
Universal

日本と世界をつなぐ先導的な取組へのロードマップ

現地学生との  
専門分野の垣根を超えた  
国際交流

### 連携8大学

Arizona State University / Dickinson College / Georgetown University / Northern Kentucky University / Purdue University, Northwest / Queens College, the City University of New York / University of Maryland, Baltimore County / University of North Georgia

### 大学の世界展開力強化事業

この事業は、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指し、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行う事業対象国・地域の大学との国際教育連携の取組を支援することを目的として、文部科学省において平成23年度から開始された事業です。平成30年度の米国との事業では南山大学を含む日本の10大学が採択されました。



# NU-COILの特徴



## Buddy System



COIL型授業を通じてオンライン上で一緒に勉強した海外のパートナー学生が日本に留学に来るとき、そして自分が現地の大学に留学するとき、相互にバディ(相棒)となってさまざまなサポートをします。オンラインでのプロジェクトで苦労を分かち合った仲間は、留学するときの強力な味方です。海外留学をするときには、授業のことだけでなく寮での生活や買い物、電車の乗り方などに戸惑うことも多いですが、バディがいれば何でも相談できるので安心して海外に飛び込むことができます。さらに、留学が終わってからもこの関係はずっと続いていくでしょう。



## Support System



NU-COILをサポートする専門の教職員「NU-COILサポートチーム」を配置。プログラムに参加する南山の学生や外国人留学生の支援、留学に関する相談のほか、COIL型授業の運営やオンラインツールに関する相談、NU<sup>4</sup>-COIL<sup>2</sup>プログラム連携校対応、教職員のスキル向上などを担当します。coil-support@nanzan-u.ac.jpまで気軽に相談してください。



## Scholarship

日本学生支援機構(JASSO)による留学用奨学金等を優先的に受けることができます(受給を保証するものではありません)。また「NU-COIL短期留学」では、予算の範囲内で渡航費の一部を大学が支援します。



## Internship-PBL COIL



トヨタ紡織アメリカにてインターンシップ

NU-COILでは、海外への留学前後や留学中に南山大学がこれまで関係を築いてきた地域の優良企業・団体・官公庁でインターンシップを行います。さらに、インターンシップ先企業等からの課題に対して、時間と空間を異にする海外の学生とオンライン上でグループに分かれて議論するPBL COILを通じて、文化、言語、学問などの違いを超えたより良い解決策を検討、提案します。インターンシップを通して得た現場ならではの情報や問題意識を活かしてPBL COILで企業からの具体的な課題に向き合うことができるNU-COIL独自の産官学連携によって、グローバル化した現代社会で活躍できる力を養います。

## COIL型事業の運用モデル

COIL(Collaborative Online International Learning)では、オンラインで海外の学生とバーチャルな交流を実施します。交流内容は、メールなどのメッセージ交換やテレビ会議での会話交流、テーマを決めたディスカッション、共同でのムービー制作、課題解決型のプロジェクトなど多岐に渡ります。LINEやFacebookなど学生に身近なSNSやLMSを活用して交流を進め、時差、言語差、文化の違いを超えて協働します。



Google YouTube



LMS<sup>※</sup>



ONLINE



※LMS=Learning Management System (学習管理システム)



## 体験Voice

留学経験者のリアルな体験を紹介します。

南山大学 国際教養学部国際教養学科

塚田 玲加さん

留学先:アリゾナ州立大学



留学を通して、より実践的な英語力を伸ばしたいという思いと、周りの目を気にしない自由な雰囲気のあるアメリカで大学生活を送ることへの漠然とした憧れがあり、交換留学の制度を利用して、アメリカへ留学をしました。渡航前のWakaba Project\*ではASU (Arizona State University) の学生と直接交流ができ、ディスカッションで話した内容が、現地の生徒を理解することに役立ちました。留学中は国籍問わずたくさんの友達に恵まれましたが、その中でも一番の思い出は、新型コロナウイルスの影響で日本へ緊急帰国する前夜に、ASUの近くにあるA-mountainへ友人とハイキングへ行き、流れ星を見たことです。私にとっては人生で初めて、かつ留学最終日というタイミングに感動し、今でも鮮明に覚えています。帰国後に受講した国際産官学連携PBL科目(PBL COIL)では、留学したことで分かった国民性や文化を応用させることができ、自分の経験がある

からこそ言えることがたくさんありました。この授業には留学中に日本語ボランティアで出会ったASUの学生が参加しており、Zoom上で再会することができました。また一緒に授業を受け、彼女たちの日本語の勉強の役に立てる嬉しさを感じました。



\*Wakaba Project (現在: COIL-mate Project) 主に米国8連携校への留学が決まっている南山の学生と、南山での留学が決まっている米国8連携校の学生が、留学開始前にオンラインツールを用いて交流を行うプロジェクト(単位付与なし)

University of North Georgia

East Asian Studies: Japanese track

Daniel Shearerさん

留学先:南山大学



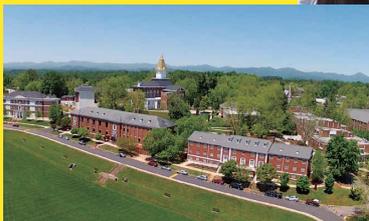
留学は人生で最高の経験でした。時々、海外の学生と日本の学生たちが集まるにぎやかな寮生活を思い出します。一緒に勉強をしたり、料理を作ったり、金曜日の大変なテスト明けの土曜日の朝にのんびりしたり。新型コロナウイルスの影響で留学期間が短くなってしまったことがむしろ、あの時間が特別だったことを実感させてくれていると思います。常に新しい環境と南山大学の素晴らしいプログラムに馴染んでいくことが必要で、それが私たち学生のコミュニティの結びつきを深めたのだと思います。渡日前から、COILでつながった南山大学のパートナーが現地でのおすすめの場所を紹介してくれたり、異文化による誤解や、よくやってしまう間違いについて教えてくれました。そのおかげで、日本に行く準備は順調で、まるで昔の友人に会いに行くような感じでした。新型コロナウイルスの感染が拡大し、プログラムの途中でアメリカへの帰国準備をし、みんなにさよならを言わなければなりません。予定より早い帰国はとてつらく悲しかったですが、南山大学で過ごしたあの短い時間は本当にかけがえのないものとなりました。



## 交流しすぎる「NU-COIL 短期留学」 [授業科目名:短期留学プログラム(春季)A3]

COILと留学が連動するNU-COILのための特別短期留学プログラムです。

留学先はアメリカのノースジョージア大学。留学前にCOILで協働プロジェクトを実施して、すっかり仲良くなったパートナーと現地でプロジェクトの続きを進めます。初対面なのに留学中も交流が充実。相手の学生は日本語を勉強しているので、英語に自信がなくても大丈夫。NU-COILの魅力が余すことなく体感できるプログラムです。



南山大学



<http://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/>

